

投資者の皆様へ

2020年3月9日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社国内株式関連ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。国内株式市場が大幅に下落した影響により、3月9日における弊社の下記ファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(3月9日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>	11,973 円	▲689 円	▲5.4%
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	12,285 円	▲1,250 円	▲9.2%
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	15,481 円	▲1,575 円	▲9.2%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(愛称:jnext)	28,317 円	▲2,245 円	▲7.3%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型)/愛称:jnext II	14,155 円	▲1,121 円	▲7.3%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)	31,543 円	▲2,234 円	▲6.6%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型)/愛称:jrevive II	10,746 円	▲762 円	▲6.6%
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ<DC年金>/愛称:jrevive<DC年金>	11,762 円	▲836 円	▲6.6%
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	12,885 円	▲776 円	▲5.7%
SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド	11,556 円	▲986 円	▲7.9%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への警戒感から2月末に世界的な株安が進みましたが、3月に入っても下げ止まらず、本日も国内株式市場は大きく下落しました。

欧米における新型コロナウイルスの感染者が増加していることに加え、原油価格の下落も嫌気され、リスクオフの動きが強まったことから前週末の米国株式市場は下落しました。この影響を受け、週明けの国内株式市場においても主要株価指数は5%を超える下落となりました。

また、外国為替市場においてもドル／円が一時2016年11月以来となる1ドル＝101円62銭を付けるなど、急速に円高が進行しました。その結果、日経平均株価は1年2カ月ぶりとなる20,000円を割り込み、前営業日比1,050円99銭安(同▲5.07%安)の19,698円76銭で取引を終了しました。

このような国内株式市場の大幅な下落に伴い、弊社の運用する国内株式関連ファンドの組入銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額は下落いたしました。

新型コロナウイルスは発源地とされる中国では沈静化しつつあるものの、欧米では依然として感染拡大が続いており、経済への影響が見通しにくい状況にあります。また、追加利下げ期待などを背景に円高・ドル安も進んでいます。そのため、悪影響を織り込むまでは株価の調整局面が続く展開が予想されます。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による経済及び企業業績に対する影響が一巡すれば、国内株式市場も次第に落ち着きを取り戻し、企業の本源的な長期的成長を見直す動きが戻ると予想します。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。